

燕市産業史料館で「燕の100年展」を開催

－通水100周年を記念し燕のまちの歩みを紹介します－

燕市産業史料館では、「燕の100年展」を4月8日から開催します。

今から100年前、越後平野を広大な美田に生まれ変わらせた大河津分水。「東洋一の
大工事」と言われた採掘工事は、当時不況で苦しんだ燕の金属加工職人の一時的な働き
先としての側面もあり、地場産業の形成にも大きく影響を与えました。

この大河津分水路は、今、目にしている何気ないまちの景色や田園風景にも大きく作
用し、100年という恵ある時間が今の「燕」の姿を形作ったと言っても過言ではありま
せん。

本企画展では、大河津分水通水100周年を記念し、旧燕地区をはじめ旧吉田地区、
旧分水地区の100年前のまちの様子を知ることのできる貴重な資料を紹介します。

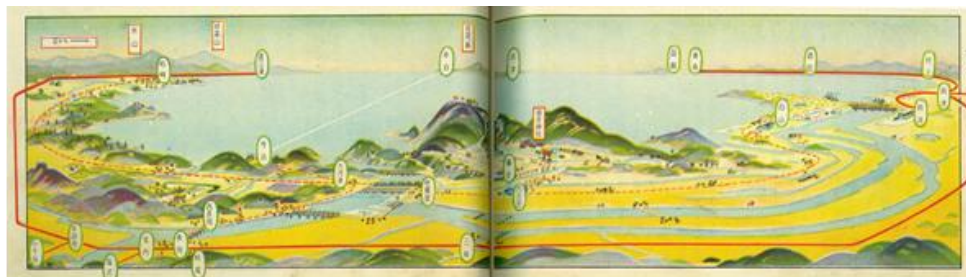
【「燕の100年展」の概要】

- 1.会 期：4月8日（金）～5月15日（日）
※休館日：月曜日
- 2.時 間：午前9時～午後4時30分
- 3.会 場：燕市産業史料館 企画展示室
- 4.内 容：旧燕地区の明治時代の貴重な古地図のほか、
旧吉田地区、旧分水地区の写真、映像資料等
- 5.展示数：約50点
- 6.入館料：大人 400円、小・中・高校生 100円

〔※市内小中学生と付き添いの保護者1人は、
ミュージアムパスポートで土・日・祝日無料〕



▲「捧吉右工門商店」の
カタログ（昭和3～5年頃）



▲「鉄道旅行案内」（大正13年）中央付近に通水した頃の大河津分水路が描かれています。